

FLT 活動計画書

1. 背景

組織理念 「自己表現の創造」

自動化されて便利になっていくにつれて、人が思考する機会が失われてきている。
さらに今後 AI の導入等により、サービスにおいてオススメ機能等が増えて、自分が選択する機会が失われ、機械が全て選択してくれる未来が予想される。
そんな世の中において将来的にも自分で考えてデザインできるプラットフォームを作る。
あくまでも、感情を持った人類が主導権を持ち、自己の意志を発信する。

2. 達成したいこと

ユーザー自身が日常的に楽しくデザインの選択ができる機会となりうるデバイスを作る。
人類が自由に自己表現できるよう、様々な境界をなくす。

選択性のあるデバイスで実現すべきこと

- スイッチング性
 - 多様な選択性
- (ユーザーの選択肢を増やし、ユーザー自身にも**主導権**を与えるため)

3. 目標達成のために作成するプロダクト

3.1 最終的に作るもの

フリーカラーデバイス

- 自分自身で色を自由自在に変えられるデバイス
- これにより人々にデザインするプラットフォームを与える
- デバイスには化学材料を用いる



なぜフリーカラーデバイスなのか？

- 制約が少なくユーザーの選択肢が多い(色, 時間)
- 一般的な服も十分に多種多様だが、実情はデザイナーが決めた中央集権的なもの。そこに実際に使用するユーザーの意思も加えたい。主導権をユーザーが持つ。
- 色の感じ方は十人十色である。色の表現は世界共通であり、言語の壁を越えられる。

3.2 直近で作製しているフリーカラーデバイス

- アクセサリー・バッジ
- ミニチュア用の人形服、壁
- 服の一部(胸ポケット等)

4. プロダクト作成の手段

電気化学(我々の研究分野)

- エレクトロクロミズム 可逆的な色調変化
- エレクトロケミルミネッセンス 発光

...etc

フルカラーフレキシブル素子への展開

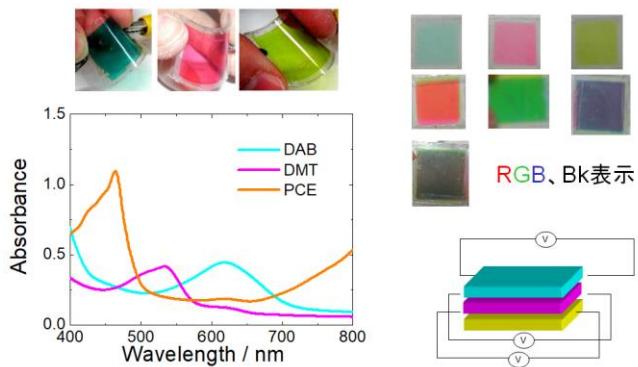


Fig. Absorption spectra of DAB, DMT, PCE gel electrolyte flexible cells.

Fig. Color diagram and structure of cells.

フレキシブルマトリックスセルの作製

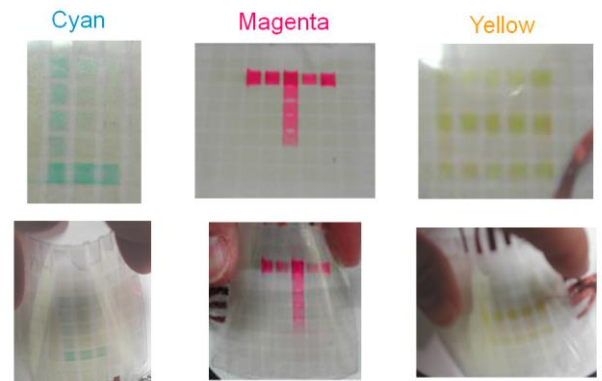


Fig. Photograph of DAB, PCE and DMT flexible cell images.

5. ビジネス的なベネフィット

5.1 服を着替える時間を短縮化

服の雰囲気を変えたい際、時間的・場所的な制約をなくす



5.2 目に対する優しさ

発光型のディスプレイがもたらす悪影響

- 眼精疲労
- 視力低下
- 睡眠障害

参考: <https://smamori.jp/contents/impact/bluelight.html>

5.3 環境にたいする優しさ

1つの服で多様な色を出せるため、服を大量に消費する必要が希薄化

5.4 電氣的なデバイスによる応用性

- 様々なメディアに対して応用可能
- 壁紙やインテリア雑貨等、服に囚われずメディアも選択的にしたい

6. 今後の活動予定

6.1 直近の予定

オープンキャンパス

日程: 8月8日(水)

アクセサリ・バッジ・ミニチュア服等での技術紹介

大学祭での披露

日程: 毎年10月末～11月初旬

学内ファッションショーでアクセサリ等を披露

6.2 最終的に具体的にどの方向性でいくか

2年後を目標に...

ユーザーが選択可能なフルカラースイッチングのデバイス作製